

看護研究協力をお願い

1. 研究目的

年齢と共に物を飲み込む力が弱くなり、肺炎になる危険性が高くなります。肺炎で入院すると、入院期間も長くなり自宅へ帰ることが難しくなることもあります。そこで、訪問看護ステーションさわらでは、肺炎を予防し自宅で生活が続けられるように、肺炎予防の方法として評価表と訓練方法を作成しました。今後地域で活用し、肺炎予防を行っていきたいと思います。

2. 研究の方法

①簡単な質問と検査をします。

- ・食事に関する質問（6問）
- ・口腔内の観察
- ・パタカ測定（所要時間5分程）
- ・（通称）おっぺしテスト（所要時間3分程）
- ・栄養に関連する質問（4問）と身体の測定（所要時間5分程）

②質問の結果、必要な方に肺炎予防の訓練をパンフレットに沿って行います。

- ・パタカ訓練
- ・舌運動
- ・早口言葉

③1か月後、再度①の検査を行います。

3. この研究の予想される結果と、起こるかもしれない不利益について

この研究を行う事で、肺炎を予防し自宅で生活が続けることが出来ると考えられます。検査や運動で体に負担がかからない様に配慮させていただきます。

4. 倫理的配慮

- ・研究への協力は皆様の自由意思に基づくものであり、アンケート調査に御協力いただけない場合でも不利益を受ける事はありません。
- ・アンケートを受けた後でも協力を取りやめる事も出来ます。
- ・研究の成果は学会等での発表を考えています。その際は個人が特定される情報を公表する事はなく個人情報を守られます。
- ・回収したアンケートは研究者が責任を持って管理し、研究終了後には適切な方法で破棄します。

5. 研究中・研究後の対応

この研究の期間中及び終了後でも、本研究に関してお問い合わせ等がありましたら、研究者までお尋ね下さい

訪問看護ステーションさわら
住所：千葉県香取市佐原イ 2214-1
電話：00478-54-0478
責任者：阿蒜ひろ子
研究者：林和子 塚本文香